

東御市
社協報

ほほえみ

49号

平成24年11月16日発行

編集発行 社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
長野県東御市鞍掛197
(総合福祉センター内)
TEL (0268) 62-4455
FAX (0268) 64-5695
<http://www.tomisyakyo.or.jp>
印刷 (有)グリーン美術出版

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

▲ふれあいフェスティバル
けん玉教室
(NPO法人信州未来広場)



▲ふれあいフェスティバル
東部中学生ボランティアの
パン販売



誰もが
安心して
暮らせる
福祉の
まちづくり



▲ふれあいフェスティバル
もちつき体験道場
(実行委員会)



▲いきいきサロン(王子平区)



▲祢津小学校福祉体験学習 点字体験

▲赤い羽根共同募金
(田中駅前)

○「第9回 福祉の森ふれあいフェスティバル」特集

○各地のいきいきサロンから(大川区・王子平区)

○「東御視覚障がいネットワークゆるり」設立

○月間スナップ

○ボランティアかわら版



第9回 「福祉の森 ふれあいフェスティバル」から とうみのボランティアさん大集合

“つなごうボランティア、広げよう心の絆”をテーマに、「第9回福祉の森ふれあいフェスティバル」は10月27日、市総合福祉センターを会場に開催、約900人が訪れました。主催は同フェスティバル実行委員会（小林経子委員長）と市社会福祉協議会。市内50団体以上の協力を得て、スタンプラリーや各種体験コーナー、ふれあいステージ交流など盛りだくさんの内容で行いました。

花火の合図ののち、オープニングセレモニーでは、「ビッグハンズ」の子どもたちがダンスを披露。元気いっぱいのおしゃれなダンスに大きな拍手が送られました。他にも手話体験、骨密度測定、AED体験、野立サロン、お手玉遊び、ボランティアクイズなどを実施。ひと休みしながら、ミニコンサートや手話ダンスを楽しみました。

ここでは、市民がボランティアに親しんだ「ふれあいフェスティバル」の様子を写真で紹介します。



▲小林経子実行委員長
あいさつ



▲「ビッグハンズ」の子どもたちのダンス
（オープニング）



▲景品交換に多くの人が……（本部）



▲パンの販売（ダーチャ）



▲訪問入浴車体験（ちいさがたの家）



▲手話ダンス（サンフラワーズ）



▲太鼓演奏（音楽を楽しむ会スキップ）



▲たいての販売（さんらいずホール・フォーレスト）



▲非常食炊き出し体験（日赤奉仕団）



▲AED体験（長野救命医療専門学校）



▲高齢者疑似体験（社協）



▲ふるさと鍋のふるまい
（食生活改善推進協議会）



▲ポップコーン販売（実行委員会）



▲ブラバンキーホルダー作り
（㈱ファンケル発芽玄米）



▲「ばせり」によるコンサート



▲車いす体験（社協）



▲フライングディスク（りんどう会）



▲骨密度測定（市民病院）



▲手話サークル活動紹介



▲お手玉花咲会



▲閉会式で大合唱



各地のいきいきサロンから



大川区いきいきサロン

9月22日、大川区は大川公民館で、いきいきサロンを開きました。この日は「肩こりにいい体操」「腰痛にいい体操」で集まった20人がストレッチを行いました。



川手敏江福祉運営委員長(写真左)と竹花美津子福祉運営副委員長

その後は茶話会で楽しく交流しました。同区では、一人暮らしの高齢者宅の安否確認を定期的に訪問し行っています。



▲「肩こりにいい体操」を行う

また、いきいきサロンや、12月にはそば打ち講習も実施します。

王子平区いきいきサロン



小宮山千枝子福祉運営委員長

10月20日、王子平区いきいきサロン「紅葉狩り食事会」が、王子平公民館で行われました。区民20人が集い、心づくしの食事や秋にちなんだ歌、景品の当たるビンゴゲームなどで盛り上がり、明るい笑顔が弾けました。同区では、サロンを心ゆくまで楽しんでもらおうと参加型の内容を工夫し喜ばれています。

PTAの協力で初めて小学生を招き、肩たたきやゲームなど楽しみながらにぎやかに交流しました。また、毎回チラシを配りながら個々に声掛けするなどきめ細かな対応も好評です。小宮山千枝子福祉運営委員長は



▲音楽に合わせてボールを回す

「季節感にも配慮しながら楽しんでいただけるよう計画しています。また来るねと言われると本当に励みになります」と話していました。

大学生が実習行う

小川さん(写真左)と山田さん▶

大学生が社協で実習を行いました。参加した小川正成さん(長野大学社会福祉学部3年)は「このような活動はいろいろな人にやってほしいです」と、山田ちひろさん(群馬医療福祉大学4年)は、「自分の健康を維持する意識の人が多いと思いました」と、それぞれ感想を語っていました。



「東御視覚障がいネットワークゆらり」が設立されました

10月21日、市文化会館会議室で「東御視覚障がいネットワークゆらり」が設立されました。この会は、会員相互の交流と情報提供や情報交換、視覚障がいに関わる諸問題解決に向けて、東御市の視覚障がい者と支援者のネットワーク化を図ることが目的です。同会の内容は次の通りです。

会員は……

東御市在住の視覚障がい者を中心に、家族や視覚障がい者の支援に様々な立場に関わる人です。現在会員は約20人です。



設立の会議であいさつする

会費は……

年会費は徴集しませんが、集会などで必要になる経費は参加費として、その都度徴集します。

活動内容は……

市福祉課や会員相互の親睦を深める懇談会などを開催したり、施設などのバリアフリー化について視察研修を行います。また、会員向けにメール通信を発信し、会の取り組みや視覚障がい者が参加できる地域の講座や講演会、コンサートなどの情報をお知らせします。

●問い合わせは社会福祉協議会 TEL62-4455へ

月間スナッポ

障がい者希望の旅

9月5日、重度の障がい以外で外出の機会に恵まれない皆さんを対象に「いい旅ときめき隊」と題し、新潟県越後湯沢へ1泊2日の旅行に出かけました。今年は、“日本海を見に行こう”を合言葉に出発しました。天候にも恵まれて、普段見ることのできない佐渡ヶ島や美しい海を楽しみました。ホテルでは、温泉や海の幸を堪能し、参加者同士で交流を深めました。旅先では、バリアフリーでない場所もありましたが、ボランティアの皆さんの協力もあり、楽しく旅行ができました。



赤い羽根共同募金街頭活動

10月1日、全国一斉に赤い羽根共同募金が始まり、東御市でも社会福祉協議会と日赤奉仕団の皆さんが、道の駅「雷電くるみの里」と、しなの鉄道「田中駅」で募金活動を行いました。

買い物途中の人や電車利用者など、大勢の皆さんが足を止めて募金に協力してくれました。赤い羽根共同募金の寄付金は、東御市の地域福祉活動のほか、県内の福祉施設整備などに使われており毎年、市民の皆さんにご協力いただいています。

めぐりあいパーティー

10月7日、長和町の女神湖で「めぐりあいパーティー」が行われ、結婚を希望する独身男女24人が参加しました。このイベントは、各相談所の登録者に出会いの機会をつくることを目的に、東御市・長和町・青木村結婚相談員連絡会が企画したもので、当日はコーディネーターの指導のもと、社交ダンスやゲームなどで交流を深め、美味しい食事をとりながら会話を楽しみました。参加者は、初秋の高原で新しい出会いも見つけたようでした。



在宅介護者リフレッシュ事業

11月1日～2日、日ごろ在宅で家族を介護している皆さんを対象に、「介護者リフレッシュツアー」が行われ、安曇野・大町温泉へ出掛けました。1日目は、揚げたてのかりん糖が楽しめるお店や穂高神社に立ち寄り、宿泊先の大町温泉では落ち葉が露天風呂に浮かび、秋の始まりを肌で感じつつ皆さんで秋の夜長を過ごしました。2日目は、安曇野のHAMAフラワーパーク、大王わさび農場を散策。紅葉を楽しみながら新鮮なわさびを使った「わさび漬け」の体験をし、美味しいお蕎麦を食べ皆さんと笑いでいっぱい2日間となりました。

ボランティアがわら版



福祉体験学習

～体験を通じて思いやりの心を育てます～

北御牧小学校

- ・ 6 / 21 車いすツインバスケット 6年生
- ・ 8 / 30 アイマスク(対話型鑑賞)体験 5年生
- ・ 9 / 26 手話体験 4年生
- ・ 10 / 2 点字体験 4年生

感想

- ・ 障がいを持っていてもツインバスケットなどスポーツを楽しむことができることに感動した。
- ・ アイマスクをつけている人に想像がつくようわかりやすく説明する事に気がつけた。
- ・ 手話には「あいさつ」の一字の手話や「山」や「岩」を一つの表現で表す方法があることを知った。

滋野小学校

- ・ 8 / 27 手話体験・車いす体験 なかよし委員

感想

- ・ ドアを開けたり閉めたりするのが大変でした。
- ・ 1度もやったことがなかったので難しかったです。名前やあいさつができて良かったです。

アイマスク
(対話型鑑賞) 体験



手話体験 (北御牧小)



車いすツインバスケットボール



車いす体験



手話体験 (滋野小)



柅津小学校

- ・ 10 / 11 5年生・6年生

車いすツインバスケットボール



アイマスク (対話型鑑賞) 体験



高齢者疑似体験



点字体験



手話体験



車いすツインバスケットボール

- ・ 身体の不自由な人もそうでない人もできるので良い。

高齢者疑似体験

- ・ 年をとっていくと必ずこういう苦労を味わうから、この体験をすることは大切。

点字体験

- ・ 点字は目の不自由な人にとってはなくてはならないものだと思った。

アイマスク (対話型鑑賞) 体験

- ・ 言葉だけで人に何かを伝えるのがこんなにも難しいとは思わなかった。

手話体験

- ・ とても勉強になりました。手話だけでなく口話も大切だと学んだ。

～みんなでつくる ひとにやさしいまち～

み～つけた!! まちのなかの工夫

知ってるようで
知らない

スナップ1:「車いす専用駐車場」



♥どうして一般の駐車スペースに比べて、幅が広くとってあるの？

車の幅プラス車いすの乗降・動作の幅が必要だからです。乗降の際には、車のドアを最大に開き車内にある車いすを取り出して車の横に置き、車から車いすへ移動します。

♥病院やスーパーなどの入口の近くにあるわけは？

雨が降っていると車いすは両手を使って漕いで進みますから、傘を差すことができません。また、安全を確保するためにも建物の入口の近くにあります。

♥わたしたちができること

障がい者用の駐車スペースが空いていないと、車いすを利用している人が普通に生活する上で大きな支障となることがあります。車いすを利用している人が来たときに気持ちよく使えるよう、一般の人の駐車はやめましょう!!

音訳ボランティアスキルアップ講座開催

6月から11月にわたり4回コースで、目の不自由な方の支援をしている音訳ボランティアの皆さんの音訳技術向上のため講習会を開催。講師には県社協音訳ボランティア講師の角龍成子氏と元SBCアナウンサーで朗読ボランティア指導講師の大久保知恵子氏をお招きし、実践を交えて指導が行われました。



ボランティア笑顔のルー



☆東御市のボランティア連絡協議会加入団体の代表者にインタビューをします。

「りらの会」

その17

小川原祐子さん

連絡先 電話63-6635



Q 活動内容を紹介してください

市報（月1回）・市報お知らせ版（月2回）の発行にあわせて音訳をしています。また、月2回、目の不自由な人のお宅に2人1組でうかがい「読み書き支援」（来た手紙を読んだり返信の手紙を代筆する）をしています。そのほか東部中学校の総合学習、利用者さんとの交流会、ボランティア連絡協議会行事に参加しています。

Q ボランティア活動をして楽しい、良かったと思うときはどんなときですか？

利用者さんから誉めていただいたり、喜んでくださる顔を見られたときが嬉しいです。また利用者さんから力をもらい励まされたりしています。

Q ボランティア活動をする際に大切にしていることは？

音訳をする前に声に出して読んで練習をする、音訳のスキルアップ講習を積極的に受けるなど、音訳技術の向上を心掛けています。また活動中に知った利用者の情報は他言しない守秘義務を守っています。

Q メッセージをお願いします

目の不自由な方にもっと関心をもっていただき、まちで見かけたらちょこっと声をかけてほしいです。私たちの活動に興味のある人は、ぜひ一緒に活動しましょう!!



★★★★★次回は「サンフラワーズ」の荒井さんです。★★★★★



◀店内ではポップコーンや綿あめのプレゼントも……



▲(有)雷電くるみの里様から車いすをいただきました。



▲(有)フォルテ&ドンピー様からいただきました。



(9月・10月の受付分です)

匿名	名 様	手芸品
匿名	名 様	介護用品
須田 清 隆	様	車いす 1 台
匿名	名 様	572円
(有)雷電くるみの里	様	車いす 2 台
匿名	名 様	衣類他
新田 敬 子	様	介護用品
匿名	名 様	14,892円、切手
匿名	名 様	3,000円
(有)フォルテ&ドンピー 様		
第16回チャリティーカット売上金		50,000円

ウエス(清拭布)をありがとうございます

(9月・10月の受付分です)

匿名	名 様 (別府)
花 づ な の 会	様
あがたボランティア	様
匿名	名 様 (桜井)



社会福祉協議会会費 ご協力ありがとうございました

(敬称略)

- さくら薬局
- (株)リュードヴァン
- 石和グループ(有)
- 日信工業(株)
- アートサービス(株)
- (株)八光建設
- (株)鳴沢工務店
- (株)ヴィラデストワイナリー

東日本大震災の義援金

火のアートフェスティバル実行委員会様

宮入法廣刀匠の『文鎮』売上金……240,000円

金婚祝賀式



◀西宮区 田畑さんご夫妻

▶県区 高木さんご夫妻



9月20日、東御市、市高齢者クラブ連合会と社会福祉協議会の共催による金婚祝賀式を中央公民館で開催しました。

今年は、42組のご夫婦がめでたく金婚式を迎えられ、社会福祉協議会からも記念品を贈り祝福しました。

敬老祝賀訪問

9月27日、28日に、米寿(88歳)、白寿(99歳)、長寿(100歳)を迎えられた皆さんで希望された方に、花岡利夫市長と増田勝仁社協会長が敬老祝賀訪問をして記念品を贈り、長寿を祝いました。



▲中村さんご夫妻 (通明さんが米寿88歳を迎えました)

編集後記

3.11は結婚記念日だが、震災と重なったため祝い事は当分お預けでしょう。それにしても今夏はこのほか暑さを感じ、久しぶりにウチワが多く出回り、昔を思い出すにふさわしい年だったし、省エネ思想の普及は素晴らしいと感じた。

先般、実施された高齢者のスポーツや文化を通じて交流を深めるという全国健康福祉祭「ねんりんピック」では、年輪を感じさせない活躍に大いに感動して、自分も心してウォーキングなどして健康増進に努めようと思ったが三日坊主になりそうだ。(山浦忠幸)